

第2回橋本市都市計画タウンミーティング アンケート結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

都市計画マスタープランの改定にあたって、第2回橋本市都市計画タウンミーティング（橋本市産業文化会館）のテーマである「官民連携のまちづくりについて」の感想をお聞きするため、アンケート調査を実施しました。

(2) 対象者

第2回橋本市都市計画タウンミーティングの参加者

(3) 提出日

令和3年10月23日（第2回橋本市都市計画タウンミーティング開催日）

(4) 回収結果

第2回橋本市都市計画タウンミーティング参加者95名のうち59名提出

■グラフの見方

①Nは設問の回答者数。

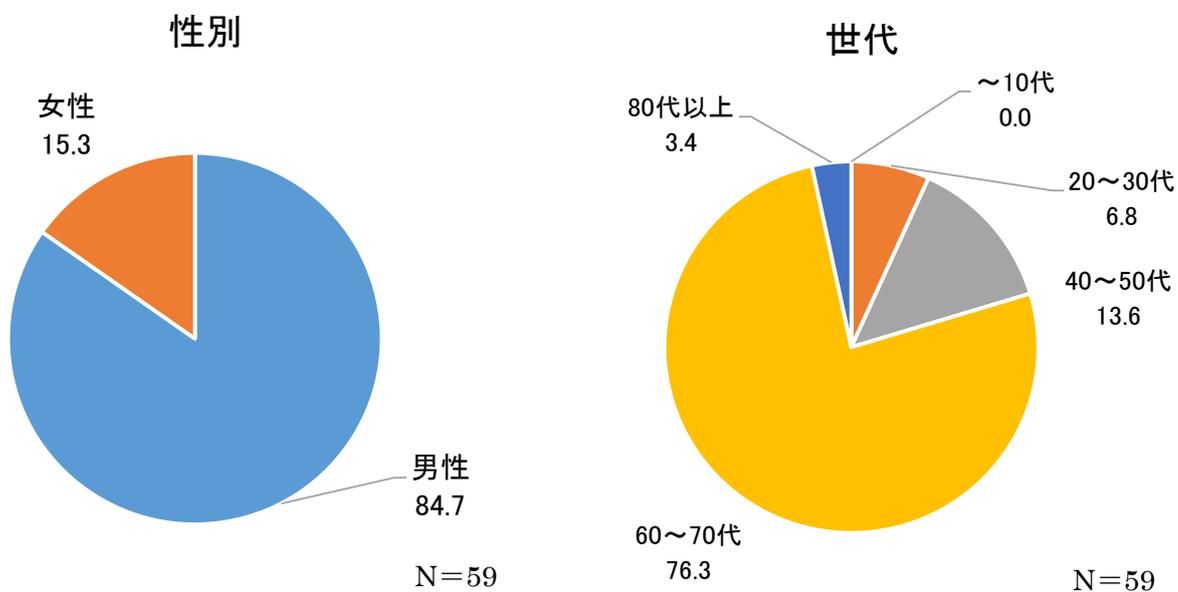
②集計は少数第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

2 調査結果

①性別・年代（性別・年代ともに1つだけ番号に○）

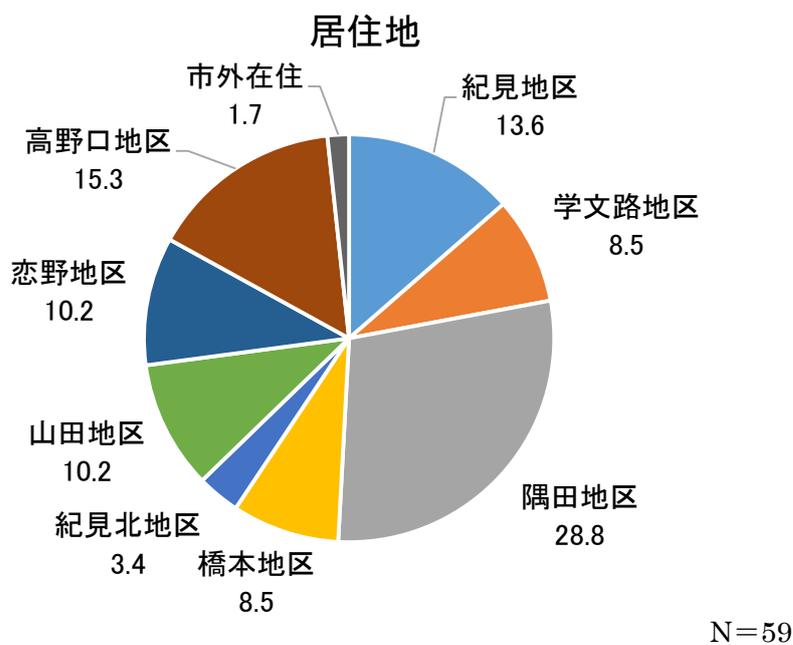
「男性」が84.7%となっている。

世代は「60～70代」が76.3%、「40～50代」が13.6%で、50代～70代で全体の約9割を占めています。



②お住まいの地区（1つだけ番号に○）

「隅田地区」が28.8%で最も多く、次いで「高野口地区」、「紀見地区」となっています。



⑨タウンミーティングの感想

回収数 59 名のうち、未回答・意見なしを除く回答者は 45 名、延べ 62 件となっています。

項目	自由記述
<p>企業と連携したまちづくり (11 件)</p>	<p>※南海電鉄「沿線のまちづくりに取り組む」早急に対応が必要。市内空き家の増加。大阪への転出増。全国的に少子高齢化、核家族化。 ※市としては協働のまちづくり条例制定して取り組んでいます。企業の力を借りて、良いまちづくりをお願いします。</p>
	<p>企業誘致を積極的に推進しているが、さらに開発を進め企業との連携等を図り、活性化に努め、住みやすい高齢社会を求めます。本日の行政と企業の連携の実態を紹介いただき参考となりました。ありがとうございました。 住んで良かった橋本市に取り組んでまいりましょう！</p>
	<p>図書館をスターバックスなどのカフェを併設してみんなが楽しく集れる場所として欲しい。企業との協力支援はどんどん受け入れて新しい試みを実現して欲しいと思います。</p>
	<p>地域の特性と強みは何か？ それを活かす知恵・手段・時代にマッチする手法。手探りで厳しい現実と日々の活動でこれから先何が出来るか？ わからないけど、健康で前向きな考え・生き様を日々努力するしかない。 リーダーのアイデア、実行力。未来を生きる後輩にもしっかり頑張ってもらいたい。政治と企業が、世界の平和と安心安全をかしこく実践に期待したい。</p>
	<p>企業様の持っているアイデアを活かした街づくり、市側の資金力とコラボして推進していただきたいと思います。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・南海さん発想は素晴らしい。もう少しアピールすれば良い。お堅いイメージの南海ですが、イメージが変わった。 ・JR もなんとかしてくれ。
	<p>○官民共働の今後の取り組みに期待し、協力していきたい。(一市民として)</p>
	<p>住みたいと思われる町づくりには魅力的な地域のコンテンツを作る必要があると思うので、行政・地元企業が連携して同じ方向を向いて取り組む必要があると感じた。</p>
	<p>橋本市はもう少し田舎をアピールして、大企業が田舎や緑を守る活動に利用してもらえる様な取り組みをしていていただきたいと希望します。</p>
	<p>各企業の努力なくして未来の発展無し。 <ul style="list-style-type: none"> ・橋本市は企業と協働して若い人が住みたくなる街づくりになるよう私たち住民も協力していきたい。 ・特に南海電鉄さんや民間の力との協力が町づくりに生かせると思う。 </p>

項目	自由記述
まちづくりビジョンの検討（10件）	人口減少、高齢化が進む中で、10年20年後を想定した取り組みが必要と感じた。
	人口はもうこれ以上は増えないと思うので、人口が減っても豊に暮らせるようなコンパクトシティを作ることが一番かと思いました。子育て世代としては、子育てはしやすいと思います。これ以上ハコモノを作るなど、自然を破壊してまでしないで欲しいと願います。
	市長（の話では「夢」がない。）はもっとビジョンを示してほしい。
	<p>・よく住みよい街づくりといいますが、橋本市は住みたくなる街づくりを行っていかなくては。</p> <p>進むべき方向は幾度となく失敗に終わっている。基本的な考え、その反省にたって新たなプランニングをしているのか。住みたくなる街の玄関はどうなっている？中心となる地域を何十年も置き去りにしているのでは？</p>
	橋本市のまちづくり計画の考えが長期ビジョンのもとに計画されていると思われまます。あやの台開発の進行の中、田園都市をさらに確立する具体的な構想を検討されたい。
	安心・安全に生活できるように
	<p>講演を聞いて、地元の魅力、強みを活かし、企業と連携しながらの取り組みが素晴らしい。それに引き換え、橋本市には何があるのか、考えると思い浮かばない。数少ない観光施設、観光地を大切にしたい取り組みが必要だと思う。</p> <p>（市長自身が何に力を入れて発展させようとしているのか見えてこない。）市長のリーダーシップに期待をします。</p> <p>また、人が住みやすい、暮らしやすい町づくりをお願いします。</p>
	橋本市も良くなっていく町づくりをお願いします。
	<p>交流人口の増加施策、リノベーション、長谷工さん南海電鉄さんの具体的な取り組みは大いに参考になると思う。</p> <p>期待値を高めるリノベーションの事業化計画が必要。（明日香村と奈良女子大学の学生のアイデア）、イベントの実施（マラソンなど）、ビジネスプロジェクト（アトツギソン）・・・。</p> <p>住みたいまち、魅力ある街の方向性を持って企業の力を借りながら、取組みへとつなげていくことが地域活性化これからの橋本の街づくりにつながると思った。</p>
	行政の企業とのパートナーシップへの働きかけが重要になると思う。力を合わせて頑張してほしい。

項目	自由記述
少子高齢化への対応 (8件)	<p>(高齢化対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長谷工さんは老人だけのエリアを作るのはどうか？60歳以上にしか住めないエリアであること。すると、保育所、幼稚園、小学・中学・高校がいないから子供の設備投資はしなくていいから市も楽である。
	<p>地域での取組み(高齢者対応)の重要性が理解できた。高齢化がさらに加速する中で、安心して生活が出来るという実感の持てる橋本市を造る必要があります。当然財政面が大きなネックとなります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による高齢者福祉施設の拡充をお願いしたい。
	<p>高齢者生活支援ビジネスとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型バスではなく小型タクシーなどで必要な時に安く手軽に利用できる移動手段 ・買い物に行けない人のための移動販売車
	<p>高齢化が進み、買い物難民が増え続きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転を積極的に考える。 ・デジタル化が進んでいく状況の中で、WEB対応がますます増えます。ところが、対応できない高齢者に対してどうするのか。 ・スーパーの買い物をWEB・TEL対応にも不安な高齢者が多い。
	<p>(少子化対策)</p> <p>高齢者の自然減はやむを得ないが、少子化を防ぐことが急務。保育園、幼稚園等の充実が親にとって安心できる環境である。それによって、20代～30代の年齢が定住もしくは増になってくるものと思われる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国を見渡せば人口増の市町村も有ると聞いています。多くは子育て世代の人たちが増えているように受け取りました。 ・ご意見ご感想を言われた人も、人口増になるように、住みたくする町になるように、取り合いになってもいけません、少子化対策を中心に市政運営をお願いします。
	<p>(生産年齢人口の減少対策)</p> <p>生産年齢人口が減少しており、0歳以下の人口がかなり低くなっているため、生産年齢人口が転出しない方策や0歳児が増加する工夫が必要である。</p> <p>企業誘致はうまくいっていると思うが、働き手の確保がうまく行っていないことが多いのではないかと。働き手は市内に住んでもらうことを考える(市民税、固定税)と、企業誘致近隣に低価格の住むところも必要であると思います。</p>

項目	自由記述
交通の取組 (5件)	<p>・南海電車の客数を増やすために、車道はバス・タクシーだけ登れるように決めてもらう。すると客はみんな電車で来るからいいのですが、どうですか？どこかでやってるよ。</p>
	<p>・橋本の駅の近くに車をおける所を作りそこを基点にして高野山などへ行けることが電車の利用も増えると思います。</p>
	<p>移動手段の確保</p>
	<p>バス→廃止について、今後の考え方、高齢者</p>
	<p>・道路の整備を急いでやってほしい。</p>
空き家、遊休地の活用 (5件)	<p>隅田地区においても空家が増える傾向にあるので、空家の活用を図ってほしい。</p>
	<p>・耕作放棄地の企業による有効利用</p>
	<p>市内各所に点在する空き家・休耕田を有効に活用する取り組みが求められる。企業の協力を得ながら、特に人口減が進む中で、空き家をリストアップして田舎暮らしの定住者を募ったり、アートを中心とした展示場を作る。 また、休耕田を利用して貸農園を中心に賑わいを演出する。なお、現在はコロナ禍で休止していることもあろうかと思うが、市内で開設されているこども食堂や食料ボランティアの周知が出来ていない。余剰野菜などを協力できる家庭もたくさんあると思う。</p>
	<p>橋本市における空き家対策を考えては。</p>
	<p>①休耕田をなくす。各地区に推進委員を決めて行う。実績は報告するように。</p>
企業誘致と移住促進 (5件)	<p>工業団地の従業者員の市内在住者の優先すれば。また、なるべく市内への転宅推進。</p>
	<p>企業誘致→地元雇用→人口増につなげていただきたい。</p>
	<p>橋本市の今後高齢化が進み、また人口減少のため市の財政が苦しくなる。 企業誘致に力を入れ、橋本市へ来ていただくよう人口を増やす計画を進めて欲しい。 20年後には約2万人の減少では市の財政は難しくなる。</p>
	<p>・河南地区への企業の進出を要望する。</p>
	<p>橋本市の一番の問題は少子高齢化、人口減、生産人口の減少であると思います。公共団体で各施設を整備してもこれらの解消にはつながらないと思います。 一番の問題は東京一極集中、大都市一極集中であり、これを解消するのは官民連携による働く場所づくりが最も必要なことかと思ます。 都市の構成もこれを考えて進めていく必要があると思いますので、よろしく願いいたします。</p>

項目	自由記述
地域まちづくりの組織化（2件）	市民参加多数の「まちづくり委員会」を組織化すること。地域に足の着いたまちづくり(案)を作るべきです。 地域別、世代別、課題別などの委員会を作っていくべき。
	②10年後の橋本市を考えて、各地区で計画、実行していく。
防災まちづくりの取組（1件）	災害可能箇所の整備・・・・・・・・田原川の底植物、木の撤去
タウンミーティングの内容（12件）	・多数のミーティングも良いのですが、少数から意見を吸い上げてもらえる場もよろしくお願ひします。
	本日の行政と企業の連携の実態を紹介いただき参考となりました。 ありがとうございました。 住んで良かった橋本市に取り組んでまいりましょう！
	①明日香村②長谷工③南海電鉄 講演、取組み事例良かった！ ○現状、体験、取組み方策有意義な内容でした。企業の取組み姿勢と現状知ることが出来ました。
	明日香村の方、長谷工の方、南海の方、それぞれのお話がとても勉強になりました。今後も外部の方を招いて実施していただくといいと思います。特に南海さんにはニュータウンの再生を一緒にやりたいです。 また、市長が最初から最後までいて、質疑応答に丁寧に回答したことも良かったと思います。
	明日香村での事例に合った取組みは橋本市でも取り組める内容だと感じる。
	アンケートも、橋本の良い所を書いていただくような工夫をされたら良いと思います。良い所を伸ばす、アピールする、投資する、マッチングさせる(企業と)
	・明日香村と長谷工の取組みは大変参考になりました。 ・質疑応答には内容制限をつけてみてもいいのでは？
	コロナ禍により予防のためマスクを着けてお話しすること大変だったと思われまふ。思うように発言できなかったことと思ひまふ。
	グランドワークトラストで地域と企業と行政がパートナーシップを組み地域の活性化を目指し市民の資産価値を高める街づくりの方の橋本市のこれからの街づくりのヒントとなる先進地の取組みを学ぶことで有意義な時間となった。
	官民一体となり街づくりをすることの必要性、重要性を強く感じました。

項目	自由記述
	<p>妥協やあきらめのない協力・支援を期待します。</p> <p>橋本市に限らず、日本、世界が今までのやり方を続けるだけでは「時間ゆたかに流れ 暮らし潤う創造」的な社会にはなれないことを全ての人が実感しているのではないかと思います。</p> <p>では、どうしていけばいいのか日々悩んでいます。情報なしでは現実的な対策を考えることが出来ないと思い、橋本市のことがもっと知りたくて今回参加したのですが、残念ながらそういった場ではなかったみたいですね。橋本市内の企業や行政、団体が直面している問題や希望を知って「ミーティング」が出来る場を作っていただければ(まちづくり課が)喜んで参加します。</p>
	<p>※最後は不要！</p>
<p>その他 (2件)</p>	<p>現在の橋本市においては、期待するもの、期待できるものは思いません。魅力が無さすぎます。行政ではなく市民(の質)が原因だと思います。</p> <p>橋本市の下水において宅内ポンプが個人管理、個人負担であるのは、公共事業の公平性に問題あり。同じ市民として下水本管の上にある家と下にある家の負担が大きく違う。公共事業であると言えない。</p>

タウンミーティングについてのアンケート

本日はご参加いただきありがとうございました。お手数ですが、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

① 性別・年代（性別・年代ともに1つだけ番号に○）

1 男性	2 女性			
1 ~10代	2 20代~30代	3 40~50代	3 60~70代	4 80代以上

②お住まいの地区の公民館（1つだけ番号に○）

1 紀見地区公民館	2 学文路地区公民館	3 隅田地区公民館
4 橋本地区公民館	5 紀見北地区公民館	6 山田地区公民館
7 恋野地区公民館	8 高野口地区公民館	9 市外在住

タウンミーティングのご意見

市街地の更新・修復を進めるとともに、多様な営利・非営利団体等の有する人材・資金の協力・支援を受け、新たな市民生活、サービスを生み出し、社会・経済活動の持続的発展が期待されます。例えば、上下水道の運営、高齢者生活支援ビジネス。橋本市において、企業とどのような協力・支援を期待されますか。

ご協力ありがとうございました。